

2023. 9. 21

報道関係者 各位

< 配信枚数3枚 >

【立命館土曜講座のご案内】

10月テーマ「21世紀の文学

人間だからできること、人間でないものにできること」

開催日程：2023年10月7日(土)・21日(土)・28日(土)

10月の立命館土曜講座は、立命館大学国際言語文化研究所の企画として、「21世紀の文学 人間だからできること、人間でないものにできること」をテーマに、ハイブリッドで開講いたします。どなたでも無料で受講いただけますので、ご関心のある方のご参加をお待ちしております。

記

■立命館土曜講座 10月テーマ

「21世紀の文学 人間だからできること、人間でないものにできること」

(1)第3391回「21世紀文学の<冒険> ～いま、表現形式に起こっていること～」

日時：2023年10月7日(土) 10:00～11:30

講師：立命館大学文学部 教授 西岡 亜紀

(2)第3392回「『作者』とは何か ～人間と人間でないものの境界線～」

日時：2023年10月21日(土) 10:00～11:30

講師：京都大学文学部 准教授 川島 隆

(3)第3393回「読むことから書くことへ ～創作の始まりと喜び～」

日時：2023年10月28日(土) 10:00～11:30

講師：龍谷大学国際学部 講師 澤西 祐典

開催方法：ハイブリッド講座(衣笠キャンパス末川記念会館+Zoom ウェビナー)

内 容：別紙参照

聴 講 料：無料

定 員：衣笠キャンパス末川記念会館 180人、Zoom ウェビナー400人

※実施前日 12:00 までに要事前申込。定員に達し次第、受付を終了。

申込方法：立命館土曜講座の WEB サイトよりお申し込みください。

<https://www.ritsumeikan.ac.jp/doyo/>

主 催：立命館大学衣笠総合研究機構

以上

本リリースの配布先：京都大学記者クラブ、草津市政記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ

●内容についてのお問い合わせ先

立命館大学衣笠総合研究機構 担当：武田・堀

TEL.075-465-8224

別紙

■立命館土曜講座 10月テーマ

「21世紀の文学 人間だからできること、人間でないものにできること」

(1)第 3391 回「21 世紀文学の〈冒険〉 ～いま、表現形式に起こっていること～」

日時：2023 年 10 月 7 日(土) 10:00～11:30

講師：立命館大学文学部 教授 西岡 亜紀

講師による内容紹介：

近年のデジタルテクノロジーの進展のなかで、私たちの表現媒体にさまざまな変化が生じています。印刷から電子、多様な SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)の出現、ChatGPT や DeepL などの生成 AI の躍進などの動きを受けて、人間が書く、ということをめぐる価値が揺れています。

この回では、まず、21 世紀の文学で表現形式に起こっていることを概観します。そのうえで、人間ではないものが開く表現の可能性と、逆に人間だからこそ生み出せることについて、具体例を示しつつ確認します。そして、21 世紀文学にはどのような〈冒険〉の未来が待ち受けているのか、という問題を提起します。

(2)第 3392 回「『作者』とは何か ～人間と人間でないものの境界線～」

日時：2023 年 10 月 21 日(土) 10:00～11:30

講師：京都大学文学部 准教授 川島 隆

講師による内容紹介：

近年の AI 技術の発達にともなって、AI は文学の作者になれるのか、といった問いが立てられるようになってきました。しかし、立ち止まって考えてみるならば、「作者」とは何でしょうか。過去に目を転じれば、古代の文学には「作者」がないことも珍しくありません。ただ単に特定困難だけでなく、たとえばキリスト教の聖書文学は、そもそも人間の「作者」はおらず、神から与えられた言葉を書き記したものと位置づけられています。もしかすると、人間の「作者」が文学を生み出すというモデルが通用する時代は、人類の長い歴史の中のほんの一コマなのかもしれません。

この回では「引用」という観点にもこだわりたいと思います。近年のインターネットの発達にともなって、既存のテキストを参照して編集することが飛躍的に容易になった結果、他人の文章をコピーして切り貼りした作品が文学賞の候補になるといった事態も生じています。ただし、既存のテキストを「引用」する行為は、文学にとって不可欠なものとしてきた歴史的経緯もあり、正当な「引用」と不当な「パクリ」の境界線がどこにあるのかは、簡単ではありません。そういった問題についても考えてみたいと思います。

(3)第 3393 回「読むことから書くことへ ～創作の始まりと喜び～」

日時：2023 年 10 月 28 日(土) 10:00～11:30

講師：龍谷大学国際学部 講師 澤西 祐典

講師による内容紹介：

AI 時代における読書や創作の意義とは？ 小説家・研究者などの視点から「読むことから書くことへ」について、次のような項目でお話しします。

(1)世界の作家と語り合う: 詩人・小説家・翻訳家が集う京都文学レジデンシー

(2)読むことの喜び: 辞書を偏愛する芥川龍之介

(3)読書を共有する喜び: 読書会

(4)作者と話す喜びと難しさ: 合評会・クリエイティブライティング・SNS の交流

■立命館土曜講座

1946 年から続く、市民向けの無料公開講座。故・末川博名誉総長の「学問や科学は国民大衆の利益や人権を守るためにある。学問を通して人間をつくるのが大学であり、大衆とともに歩く、大衆とともに考える、大衆とともに学ぶことが重要」との思いのもとに、大学の講義を市民に広く開放し、大学と地域社会との結びつきを強めることを目指しています。

<WEB サイト> <https://www.ritsumei.ac.jp/doyo/>